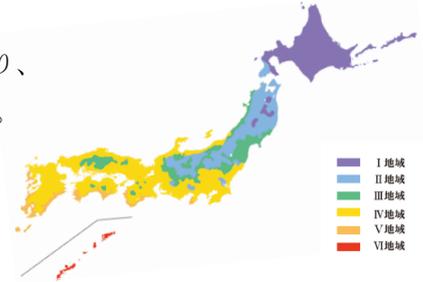


さんわ四季報 秋号 2010年 vol.35

いつも“さんわ四季報”をご愛読いただき誠にありがとうございます。第 35 号は、住まいの省エネルギーの今後の展望を考えてみたいと思います。

省エネルギーとは？ 身近で考えていただくと、電気スイッチをこまめに消す・省エネ家電を選ぶ・コンセントを抜く・LED電球に替える。どれも正解ですが、実は、住まいは完成し、人が住んでからCO₂の排出が始まります。日本も広く、地図上で省エネルギー分布が決まっており、北海道から沖縄までI地区からV地区まで求められる省エネ性能が決まっています。私たちの住んでいる町田市は、IV地区に該当しています。



IV地区の次世代省エネ基準は、C値（隙間相当面積）は5cm / m²以下、Q値（熱損失係数）2.7W / m²℃となり、床面積によって補正があります。

次世代省エネとはそもそも、1997年の京都議定書で地球温暖化防止のために、日本はCO₂の排出量を6%削減する事が決まり、後の1999年に住まいを建てるときの省エネ基準である「次世代省エネ」が発表されました。それは日本の住宅事情、約10cmの柱の間（壁厚）いっばいにグラスウールをつめた所から始まっていて、この基準を守っても増え続けるCO₂の前には、公約を果たせない事態が見えてきました。そこで、既存住宅にも次世代省エネをと言う流れで“住宅エコポイント”内側にサッシをつけて、断熱改修など入口が分かりやすくなっています。先日発表された「チャレンジ25」を行うには、新築は次世代省エネ以上、カナダのR2000基準に近づけ、既存住宅を次世代省エネ相当にする？位に私は思っています。「良い住まいに住むことは万人の願い」とトステム創業者の言葉をあたまたに浮かべながら日々勉強させていただきます。

最後になりますが、この11月20日に地域材を活用した展示場をオープンします。この展示場は、国土交通省の助成事業で、地球温暖化防止の一環である違法伐採の防止策、林業活性化、環境保全の取り組みで、産地から流通の過程まで証明された木材を使用するもの。材料におけるCO₂を考えて、生産者の分かる野菜をイメージにこの秋より進化するSW工法をドッキングさせて木の香り漂う住まいを提案させていただきます。どこまで貢献できるか分かりませんが、先立つものはお客様に振り向いていただかないと“何とかの持ち腐れ”にならないよう勝手ではございますが、お客様のご紹介よろしくお願い致します。

トドのひとり言 がつがつ。。。



家の中でクーラーを付けていても暑かったこの夏。皆様は如何でしたか？私は当社推奨の高気密・高断熱（スーパーウォール）の家に居住しているので、昼も夜も快適・快眠でした。家を新築される時は、是非スーパーウォール住宅をおすすめします。今年のように酷暑の夏でも厳寒の冬でも快適ですよ。

この夏は飛行機と新幹線に乗る機会があり車イス対応をお願いしました。飛行機では、受付カウンターでその旨を話したら、すぐ車イスの用意をして下さり、私の席まで案内して下さいました。その付添いの女性は、笑顔で言葉使いも丁寧で優しくとても嬉しかったです。数年前に乗った時は2度と飛行機の旅はしないと決めたのですが、今回は快適で気持ち良く旅が出来ました。今何かと話題の日航ですが、私をサポートしてくれた社員のように皆が“心のサービス”をして一日も早い経営の建て直しを心から願っています。

新幹線では、妻の故郷に用事ができ東北新幹線に乗り、【栗駒高原駅】で下車しました。数年前に行った時には、下りのエスカレーターがなく長い階段を一段一段下った思いがありましたので車中で車掌さんにその旨を話しました。栗駒高原駅に私が下車すると、その前には車イスを持った駅員さんが待っていてくれました。エレベーターも新設され、完全なバリアフリーでした。その駅員さんは帰りの声を掛けて下さいとの事でしたのでお願いしたら、乗車口まで車イスを押して下さいました。ホームに待っていた時に駅長(?)さんも『大丈夫ですか?』と声を掛けて下さいました。東京駅にも連絡して下さり東京駅に着いたら、車イスを持った人(駅員さんではなかった)がタクシー乗り場までサポートしてくれました。車イスの旅も楽しくでき、世間が障害者に対する思いやりの心を持ってくれるようになったことを大変嬉しく思い、心から“ありがとう”の感謝の気持ちになりました。弊社の社員もお客様の気持ちになって家を建築し、皆様から喜ばれる会社にならなければと心底より思いました。

お施主様訪問記

今回訪問させて頂いたお施主様は、町田駅から徒歩 15 分程の閑静な住宅街にお住まいの白濱様邸です。
ご主人は九州、奥様は北海道出身と、北と南からの新婚のお二人です。

白濱様邸は若いお二人のお住まいらしく、一戸建てでありながら2LDKという贅沢な間取りになっています。



お施主
白濱様邸
建築地 町田市
建築年度 平成 22 年

玄関からリビングに入ると、そこは広い吹き抜けになっていて、その吹き抜けの空間がお洒落に設計されています。

見上げると、吹き抜けの廊下は当社モデルハウスのような渡り廊下になっています。さらに、その廊下に施されたアクリルパネルがはめ込まれているアルミの手摺りがとても新鮮で、お洒落度をアップしています。

また、その廊下を真下から見上げると、そこには間接照明が上手く工夫され、これもまた何とも言えない雰囲気をかもし出しています。

リビングの吹き抜けの広い壁は、上からの採光を考え上部に窓を取り付けていますが、来年以降の夏の暑さ対策としてカーテンやロールスクリーンなどの設置を検討しているそうです。

また、掃き出し窓は『オープンウィンスライディング』という開口部をフルに開放する事ができ、室内外の空間を自然につなぐ事が出来る窓です。これは近々、ウッドデッキを設置し、当社モデルハウス同様、リビングからデッキまでフルオープンで楽しめるようにと夢は膨らんでいます。そして、クロスのごこだわりとしてリビングと寝室の一面は、ご主人が直接お店に足を運び、選んできたものを使用しています。この一面にこだわる事によって部屋全体のイメージが変わることに感動しました。



このように、今はお二人のお住まいなので贅沢な間取りになっていますが、将来的には家族構成等、生活に合わせた間取りに変更できる様、ご主人が考えたプランが納まる土地を探し、それを当社設計士と綿密に打合せをし出来上がったものです。

お客様をお招きする度に『本当にこの家を建てて良かった』と思うそうです。99%ご主人が考えた（決めた）家だそうですが、奥様は 100%お気に入りのようです。これからもご縁が続いていく事を楽しみにさせていただきます。

訪問当日、奥様は出張帰りでお疲れにも関わらず、お付き合い頂きありがとうございました。これからも宜しくお願い申し上げます。



編集後記

朝晩は涼しくなり秋の訪れを感じる季節となりましたが、まだまだ暑い日が続いております。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？

さて、当社モデルハウスが今秋 11 月に材料生産者がわかる（地域材を活用した）モデルハウスとして誕生します。

それを踏まえ、構造内覧会を 9 月 23 日（木）と 10 月 3 日（日）に開催致します。

ぜひ、お知り合いの方々お誘い合わせの上ご来場下さい。たくさんの皆様のご来店を社員一同心よりお待ちしております。

